

2005年度中間決算【補足資料】

2005年11月15日

ITX 株式会社

[目次]

1. 中間期業績	3
セグメント 2004年度中間期 & 2005年度中間期実績	4
主要子会社 2004年度中間期 & 2005年度中間期実績	5
2. 通期見直し	6
セグメント 2004年度通期実績 & 2005年度通期見直し	7
主要子会社 2004年度通期実績 & 2005年度通期見直し	8
3. 主要子会社 実績・見直し	9
ITX単体、アイ・ティー・テレコム、KSオリンパス、ITXイー・グローパルレジ、AVS、テクマトリックス、ソリス ト、	10~16
ITX営業開始後に創業または買収した主な会社の状況	17
ITX営業開始後に買収／再編した主な会社の概況	18
4. バランスシート	19
連結・単体	20~23
5. 投資実績	24
2005年度中間期実績 投資先概要	25・26
6. 会社概要	27~44

1. 中間期業績

セグメント 2004年度中間期&2005年度中間期実績

(単位：億円)

	ライフサイエンス		ネットワーク&テクノロジー		モバイル		ビジネスイノベーション		消去または全社		合計	
	04年度中間期	05年度中間期	04年度中間期	05年度中間期	04年度中間期	05年度中間期	04年度中間期	05年度中間期	04年度中間期	05年度中間期	04年度中間期	05年度中間期
売上 (投資育成) (機器販売・サービス)	49 (10) (39)	202 (10) (192)	681 (74) (607)	602 (26) (576)	803 (-) (803)	950 (-) (950)	53 (0) (53)	87 (-) (87)	- (-) (-)	△4 (-) (△4)	1,586 (84) (1,502)	1,837 (36) (1,802)
売上総利益 (投資育成) (投資評価損) (機器販売・サービス)	13 (9) (△1) (6)	39 (8) (-) (31)	58 (33) (△1) (26)	61 (24) (△0) (38)	88 (-) (-) (88)	96 (-) (-) (96)	9 (0) (△0) (9)	18 (-) (△1) (19)	- (-) (-) (-)	△0 (-) (-) (△0)	168 (42) (△2) (128)	214 (32) (△2) (184)
販売管理費 (投資育成) (機器販売・サービス)	△11 (△1) (△10)	△27 (△1) (△26)	△30 (△3) (△27)	△39 (△3) (△36)	△85 (△0) (△85)	△103 (△0) (△103)	△10 (△1) (△9)	△21 (△1) (△20)	△6 (△3) (△3)	△6 (△3) (△3)	△142 (△8) (△134)	△196 (△7) (△189)
営業利益 (投資育成) (機器販売・サービス)	2 (6) (△4)	12 (7) (5)	28 (30) (△2)	23 (21) (2)	3 (△0) (3)	△7 (△0) (△7)	△1 (△1) (△0)	△3 (△2) (△1)	△6 (△3) (△3)	△7 (△3) (△4)	26 (32) (△6)	18 (23) (△5)

※ 単体の販管費は投資育成と機器販売・サービスに50%ずつ配分

主要子会社 2004年度中間期&2005年度中間期実績 (単位：億円)

05年度中間期実績	単体	ITテレコム	KSオリンパス	ITX-EG	AVS	TMX	ソリスト
売上	451	940	150	66	37	36	25
営業利益	△6	3	5	1	0	3	△1
経常利益	△14	2	5	1	0	3	△1
中間純利益	8	1	3	1	0	1	△1
04年度中間期実績	単体	ITテレコム	KSオリンパス*	ITX-EG	AVS	TMX	ソリスト
売上	544	802	140	63	36	28	37
営業利益	△12	14	4	1	0	2	0
経常利益	△27	14	5	1	0	2	0
中間純利益	37	7	2	1	0	1	0
前年同期比	単体	ITテレコム	KSオリンパス	ITX-EG	AVS	TMX	ソリスト
売上	△ 93	138	10	3	1	8	△12
営業利益	6	△11	1	0	0	1	△1
経常利益	13	△12	0	0	0	1	△1
中間純利益	△ 29	△6	1	0	0	0	△1

※ 表中社名は一部略称使用。ITX-EG=ITXイー・グローバルレッジ、ITテレコム=アイ・ティー・テレコム、
TMX=テクマトリックス、ソリスト=東京電音が本年10月商号変更。

※ KSオリンパスは04年度12月に株式取得。04年度下期より連結。

2. 通期見通し

セグメント 2004年度通期&2005年度通期見通し

(単位：億円)

	ライフサイエンス		ネットワーク&テクノロジー		モバイル		ビジネスイノベーション		消去又は全社		合計	
	04年度実績	05年度見通し	04年度実績	05年度見通し	04年度実績	05年度見通し	04年度実績	05年度見通し	04年度実績	05年度見通し	04年度実績	05年度見通し
売上高 (投資育成) (機器販売・サービス)	(240)	(408)	(1,213)	(773)	(1,788)	(2,054)	(116)	(183)	(141)	(75)	3,497 (141)	3,480 (75)
売上総利益 (投資育成) (機器販売・サービス)	(35)	(66)	(62)	(72)	(186)	(209)	(22)	(43)	(86)	(67)	392 (86)	449 (67)
販売管理費 (投資育成) (機器販売・サービス)	(Δ35)	(Δ57)	(Δ61)	(Δ65)	(Δ182)	(Δ207)	(Δ21)	(Δ42)	(Δ15)	(Δ13)	Δ320 (Δ15)	Δ390 (Δ13)
営業利益 (投資育成) (機器販売・サービス)	(0)	(9)	(1)	(7)	(4)	(3)	(1)	(1)	(71)	(54)	72 (71)	59 (54)

- ※ 単体の販管費は投資育成と機器販売・サービスに50%ずつ配分
 ※ 投資育成関連の数値に関しては、各セグメントの合計数値を全社の欄に合計して表記しております。

主要子会社 2004年度通期&2005年度通期見通し

(単位：億円)

05年度 通期見通し	単体	ITテレコム	KSオリンパス	ITX-EG	AVS	TMX	ソリスト
売上	510	2,031	309	178	82	80	54
営業利益	10	23	10	8	0	7	Δ1
経常利益	1	22	11	8	0	7	Δ1
当期純利益	35	12	6	5	0	3	Δ1
04年度 通期実績	単体	ITテレコム	KSオリンパス*	ITX-EG	AVS	TMX	ソリスト
売上	1,059	1,779	301	122	75	66	67
営業利益	20	25	9	2	0	6	Δ0
経常利益	13	24	10	4	0	5	0
当期純利益	78	11	5	2	0	3	0
前期比	単体	ITテレコム	KSオリンパス*	ITX-EG	AVS	TMX	ソリスト
売上	Δ547	252	8	56	7	14	Δ13
営業利益	Δ10	Δ2	1	6	0	1	Δ1
経常利益	Δ12	Δ2	1	4	0	2	Δ1
当期純利益	Δ43	1	1	3	0	0	Δ1

※ 表中社名は一部略称使用。ITX-EG=ITXイー・グローパレッジ、ITテレコム=アイ・ティー・テレコム、TMX=テクマトリックス、ソリスト=東京電音が本年10月商号変更。

※ KSオリンパスは04年度12月に株式取得。KSオリンパスは2004年度ITX連結決算では、下半期の実績のみ取り込み。

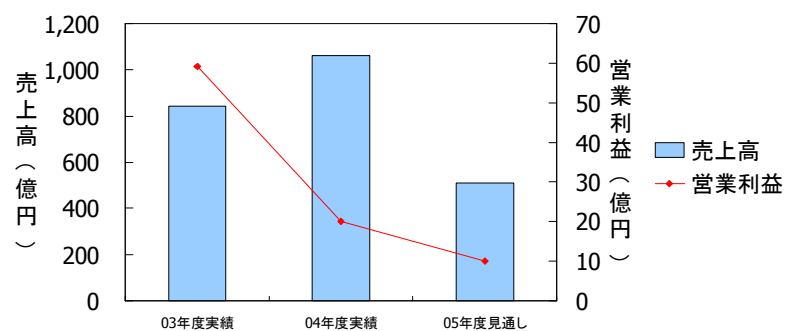
3. 主要子会社 実績・見通し

損益推移

ITX単体

(単位：億円)

	2003年度 実績	2004年度 実績	2005年度 中間期実績	2005年度 見通し
売上高	840	1,059	451	510
営業利益	59	20	△6	10
当期純利益	65	78	8	35



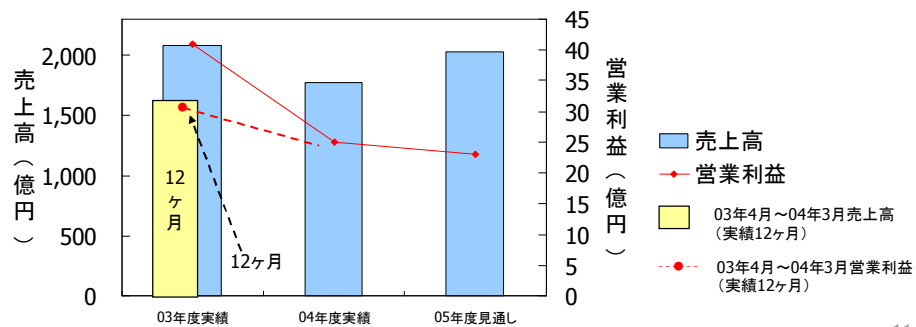
主要子会社 損益推移

アイ・ティー・テレコム

(単位: 億円)

	2003年度 実績 (15ヶ月間)	(ご参考) (03/4月~04/3月)	2004年度 実績	2005年度 中間期 実績	2005年度 見通し
売上高	2,085	1,650	1,779	940	2,031
営業利益	41	29	25	3	23
当期純利益	20	14	11	1	12

※03年度実績は決算期変更のため、03年1月~04年3月までの15ヶ月間の損益



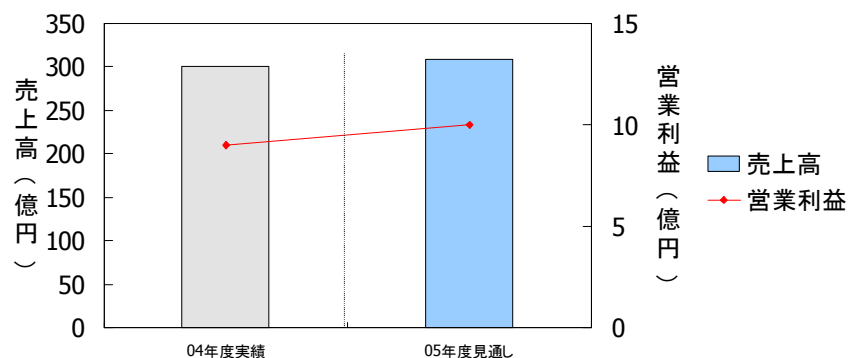
主要子会社 損益推移

KSオリンパス

(単位: 億円)

	2004年度 実績	2005年度 中間期実績	2005年度 見通し
売上高	301	150	309
営業利益	9	5	10
当期純利益	5	3	6

※2004年度ITX連結決算では、下半期の実績のみ取り込み



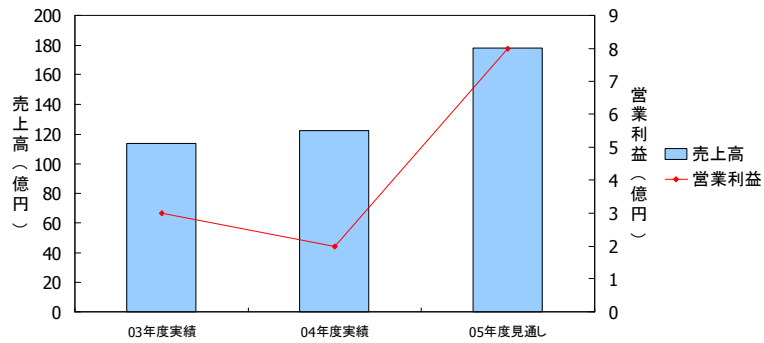
主要子会社 損益推移

ITXイー・グローバルレッジ

(単位: 億円)

	2003年度 実績	2004年度 実績	2005年度 中間期実績	2005年度 見通し
売上高	114	122	66	178
営業利益	3	2	1	8
当期純利益	2	2	1	5

備考: 2002年4月にITXの機器販売・サービスの一部を承継。



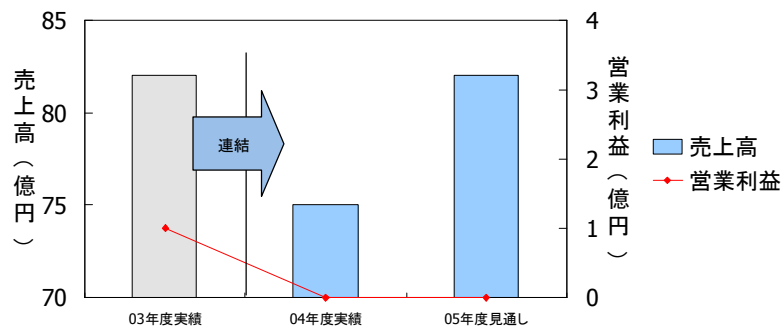
主要子会社 損益推移

AVS

(単位: 億円)

	2003年度 実績	2004年度 実績	2005年度 中間期実績	2005年度 見通し
売上高	82	75	37	82
営業利益	1	0	0	0
当期純利益	0	0	0	0

※ 2004年4月に㈱オリンパスAVSを買収、2004年度より連結。6月に㈱AVSに商号変更。



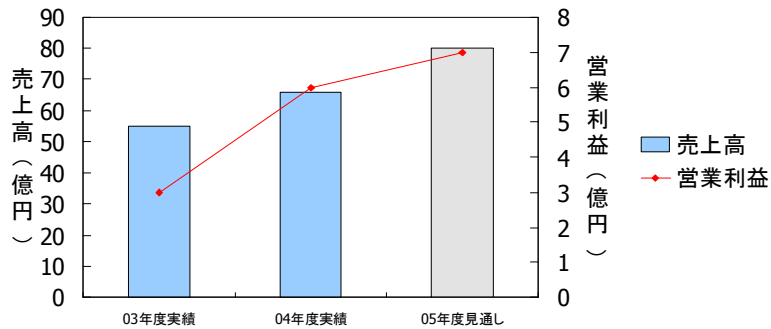
主要子会社 損益推移

テクマトリックス

(単位: 億円)

	2003年度 実績	2004年度 実績	2005年度 中間期実績	2005年度 見通し
売上高	55	66	36	80
営業利益	3	6	3	7
当期純利益	1	3	1	3

※05年9月同社の株式を一部売却したことにより、持分法適用会社となりました。(ご参考)

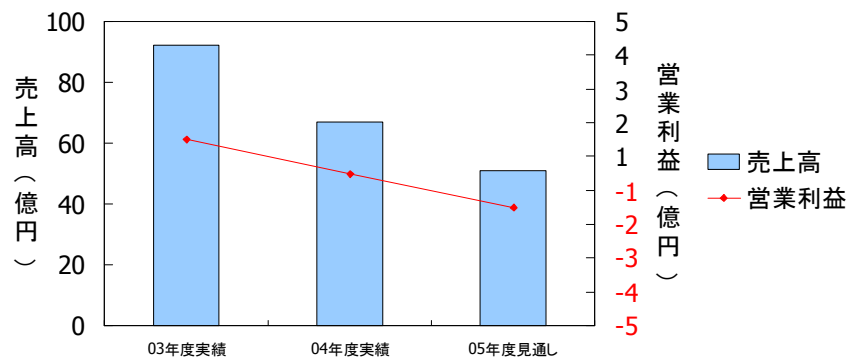


主要子会社 損益推移

ソリスト

(単位: 億円)

	2003年度 実績	2004年度 実績	2005年度 中間期実績	2005年度 見通し
売上高	92	67	25	54
営業利益	1	0	△1	△1
当期純利益	1	0	△1	△1



ITX営業開始後に創業または買収した主な会社の概況

(単位:億円)

(単位:億円)	2001年度実績		2002年度実績		2003年度実績		2004年度実績		2005年度 中間期実績		2005年度 通期見通し	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
2001年スタート												
コラボス												
マークエニー・ジャパン	0	△2	0	△4	2	△4	5	△3	5	0	11	△1
ネットプロテクションズ												
2002年スタート												
デジタルアークス			1	△1	9	△2	9	△2	23	△1	54	0
ジーンフロンティア												
ミネルヴァ債権回収												
2003年スタート												
IPX					10	△2	10	△4	2	△2	6	△5
モーラネット												
ラブランド												
2004年スタート												
クワトロメディア							8	0	14	1	35	2
ティーメディアクス												
合計	0	△2	1	△5	21	△8	32	△9	44	△2	106	△4

ITX営業開始後に買収／再編した主な会社の概況

(単位:億円)

	2000年度実績		2001年度実績		2002年度実績		2003年度実績		2004年度実績		2005年度 中間期実績		2005年度 通期見通し	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アイ・ティー・テレコム														
00年7月ニチフイルコムを買収、同年10月NIテレコムと合併	818	16	1,530	28	1,503	37	2,085	41	1,779	25	940	3	2,031	23
テクマトリックス														
00年7月買収	50	3	47	△3	48	0	55	3	66	6	36	3	80	7
ソリスト														
00年7月ニチマン電子部品を買収、01年10月東京電音と合併	97	2	112	1	92	△1	92	1	67	0	25	0	54	△1
ITXイー・グローパレッジ														
02年4月にITXのビジネスの一部を承継	61	2	45	△1	104	1	114	3	122	2	66	1	178	8
AVS														
04年4月オリンパスAVSを買収、ITXのビジネスの一部を移管									75	0	37	0	82	0
オリンパス総合サービス														
04年4月買収、NOCアウトソーシングと合併									44	3	26	2	48	2
クワトロメディア														
04年10月ITテレコム、ITXイー・グローパレッジ、ギズモプリュスの3社による共同新設分割により設立									8	0	10	0	23	1
合計	1,026	23	1,734	25	1,747	37	2,346	48	2,161	36	1,152	9	2,497	40

※ 合計は、上記個社数値の単純合計

4. バランスシート

	2005年 3月末	2005年 9月末	増減		2005年 3月末	2005年 9月末	増減
現金及び預金	261	288	27	短期有利子負債	283	177	△106
有価証券	12	12	0	その他流動負債	527	447	△80
その他流動資産	720	610	△110	長期有利子負債	563	646	83
流動資産	993	910	△83	その他固定負債	24	25	1
有形固定資産	79	76	△3	負債合計	1,397	1,295	△102
無形固定資産	367	334	△33	少数株主持分	45	28	△17
(内、連結調整勘定)	(338)	(313)	(△25)	資本金・資本準備金	484	484	0
投資有価証券	80	83	3	利益剰余金	△227	△215	12
投資育成有価証券	117	134	17	その他有価証券評価差額	10	9	△1
その他固定資産	64	58	△6	その他	△9	△6	3
固定資産	707	685	△22	資本合計	258	272	14
繰延資産	0	0	0	負債・少数株主持分			
資産合計	1,700	1,595	△105	・資本合計	1,700	1,595	△105

2005年度中間期 概況

◆ 連結バランスシート (2005年3月末比)

◆ 総資産 ⇒ 105億円の減少

- 受取手形及び売掛金の減少△84億円
(ITテレコム△55億円、KSオリンパス△15億円等)
- 無形固定資産の減少△32億円
(連結調整勘定の減少△24億円:株式売却に伴う一括償却、減損損失等)

◆ 有利子負債 ⇒ 短期有利子負債△106億円 長期有利子負債+83億円

- 短期借入の返済及び短期借入から長期借入へ借換え実施

単体バランスシート

(単位:億円)

	2005年 3月末	2005年 9月末	増減		2005年 3月末	2005年 9月末	増減
現金及び預金	62	155	93	短期有利子負債	151	67	△84
有価証券	12	12	0	その他流動負債	89	84	△5
その他流動資産	162	106	△56	長期有利子負債	476	564	88
流動資産	236	273	37	その他固定負債	5	9	4
有形固定資産	1	1	0	負債合計	721	724	3
無形固定資産	2	2	0	資本金・資本準備金	484	484	0
投資育成有価証券	57	61	4	利益剰余金	△156	△148	8
投資育成関係会社株式	99	99	0	其他有価証券評価差額	1	2	1
関係会社株式	580	553	△27	資本合計	329	338	9
投資有価証券	52	55	3	負債、少数株主持分			
その他固定資産	24	18	△6	資本合計	1,050	1,062	12
固定資産	815	789	△26				
資産合計	1,050	1,062	12				

2005年度中間期 概況

◆ 単体バランスシート (2005年3月末比)

- ◆ 現金及び預金 ⇒ 93億円の増加
 - 連結子会社からの貸付金回収、株式売却代金等
- ◆ 有利子負債 ⇒ 短期有利子負債△84億円
長期有利子負債+88億円
 - 短期借入の返済及び短期借入から長期借入へ借換え実施

5. 投資実績

2005年度中間期実績 新規投資 概要 (ITX単体及び米国投資会社からの投資)

(1/2)

	投資額 (百万円)	出資比率	事業内容
(非連結)			
1021テクノロジーズ	56	7.95%	DMT(Discrete Multi Tone)方式 VDSL(Very-high data rate Digital Subscriber Line)用のLSIチップセット及び、アルゴリズムソフトウェア、システムソフトウェアの開発
シーウェイブマーケティング	51	8.12%	広告+実売運動(Face to Faceプロモーション、ブース販売)という新市場ビジネス展開
エーアイ	57	13.55%	音声合成システムの開発・販売
日本イーエムシー	99	1.44%	化学物半導体製造機(MOVPE装置)の製造販売
イー・ステージ	99	10.22%	マーケティング支援、ブランドコンサル、システム開発
VSN	100	1.07%	技術者派遣/技術系アウトソーシング事業、個人事業主支援サービス及び人材紹介事業
ネットクリアシステムズ	51	6.25%	通信機器及び半導体の研究開発製造

2005年度中間期実績 新規投資 概要 (ITX単体及び米国投資会社からの投資)

	投資額 (百万円)	出資比率	事業内容
(非連結)			
ベターウェブ	45	11.53%	キッズパーク運営、キッズイベント企画・運営、アトラクション企画・設置・運営、プロモーションイベント運営
スキッパーワイヤレス	80	10.81%	アドホックネットワークシステム、半導体開発
EndoVx, Inc. *	49	14.67%	低侵襲肥満治療デバイス開発製造販売
VL Inc. *	103	5.70%	VoIPソフトウェアの開発
FibroGen, Inc. *	103	0.23%	貧血・繊維化に関連する創薬、コラーゲン・ゼラチンの製造販売

* : 米国投資子会社からの投資

6. 会社概要

会社概要

- ◆ 代表取締役社長： 武居 哲彦
- ◆ 営業開始： 2000年4月1日
- ◆ 事業内容： IT分野における投資育成及び機器販売・サービス
- ◆ 上場市場： ヘラクレス市場（コード2725）

- ◆ 発行済株式総数： 490,240株
- ◆ 資本金： 204億56百万円
- ◆ 連結売上高： 3,496億99百万円（2004年度実績）
- ◆ 連結当期利益： 6億1百万円（2004年度実績）

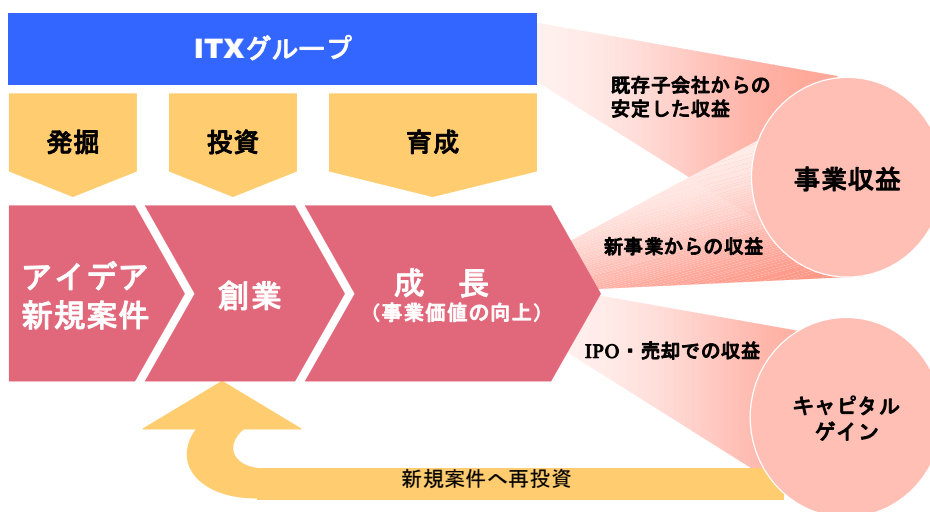
- ◆ 従業員数※： 78名（役員・執行役員を除く正社員数）
- ◆ ITXグループ従業員※： 1,708名
- ◆ 主要株主※： オリンパス㈱(61.8%)、
オリンパスファイナンスホンコンリミテッド(9.9%)、
船井電機㈱(7.7%)、
エルジーティークラスファンドアイティベンチャーズ(3.8%)、
バンクインリヒテンシュタイン(3.0%)、
- ◆ 主要取引銀行※： UFJ銀行、三井住友銀行、東京三菱銀行、みずほ銀行、農林中央金庫、
あおぞら銀行

※データは2005年9月末日現在

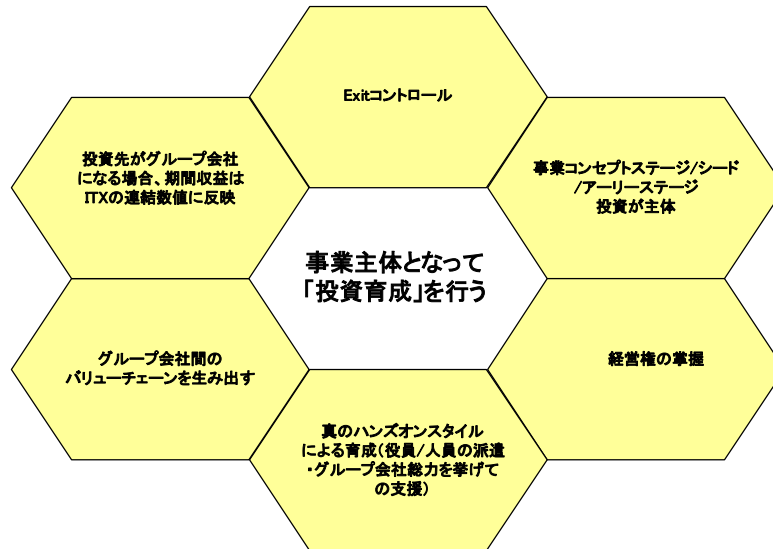
沿革

1984年	現在のITXの実質的前身となる 日商岩井情報産業本部を設立	1983年	インフォコム 設立
1999年12月	アイ・ティー・エックスとして登記	1986年	ニフティ （富士通との合弁会社）設立
2000年3月	日商岩井から営業譲渡を受ける	1990年	日商エレクトロニクス 東証に上場
2000年4月	営業開始	1993年	サテライトジャパン、日本通信衛星と合併。 （現在の JSAT ）
2000年10月	ライフサイエンス事業開始 （日商岩井（株）より営業譲渡を受ける）	1998年	日本デジタル放送サービス、JスカイBと合併 （現在の スカイパーフェクトコミュニケーションズ ）
2001年12月	スカイパーフェクト 市場（現、ヘラクレス市場）上場	1999年	日商岩井が ニフティ 株式を富士通に売却
2003年1月	オリンパスが筆頭株主に戦略的關係も強化	独創的なIT事業創出を行うため日商岩井より分離独立	
2004年9月	オリンパスが親会社に		
		8月	JSAT が東証一部に上場
		10月	スカイパーフェクト・コミュニケーションズ が東証マザーズに上場
		10月	エヌアイ・テレコム と ニチメンテレコム が合併し、 アイ・ティー・テレコム となる
		2001年4月	インフォコム と 帝人システムテクノロジー が合併（現 インフォコム ）
		10月	IT電子部品と 東京電音 が合併（現 ソリスト）
		2002年3月	インフォコム がJASDAQに上場
		2004年4月	オリンパスAVS（現、AVS）とオリンパス総合サービスを買収
		11月	NOC日本アウトソーシングとオリンパス総合サービスを統合
		12月	KSオリンパス買収
		2005年2月	テクマトリックス 上場

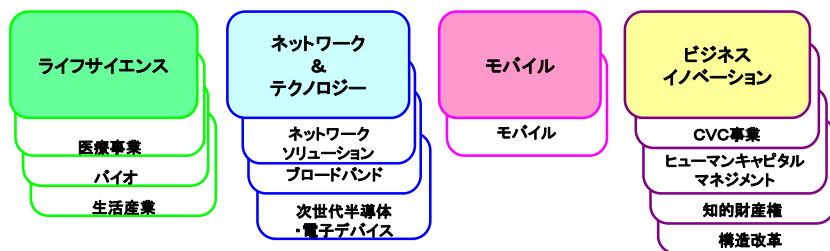
事業創出モデル&収益構造



ビジネスモデルの特徴（日本型VCとの違い）

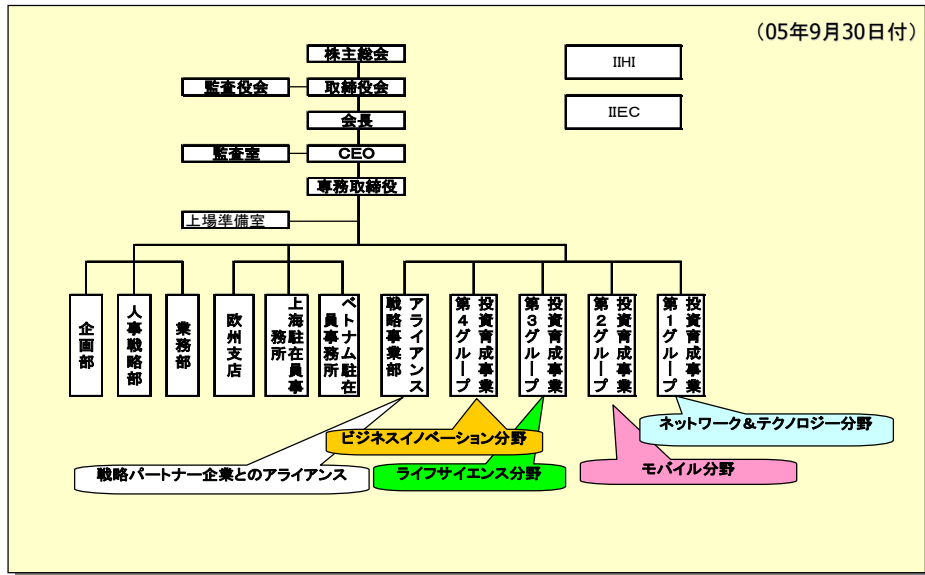


ITX Group 事業領域

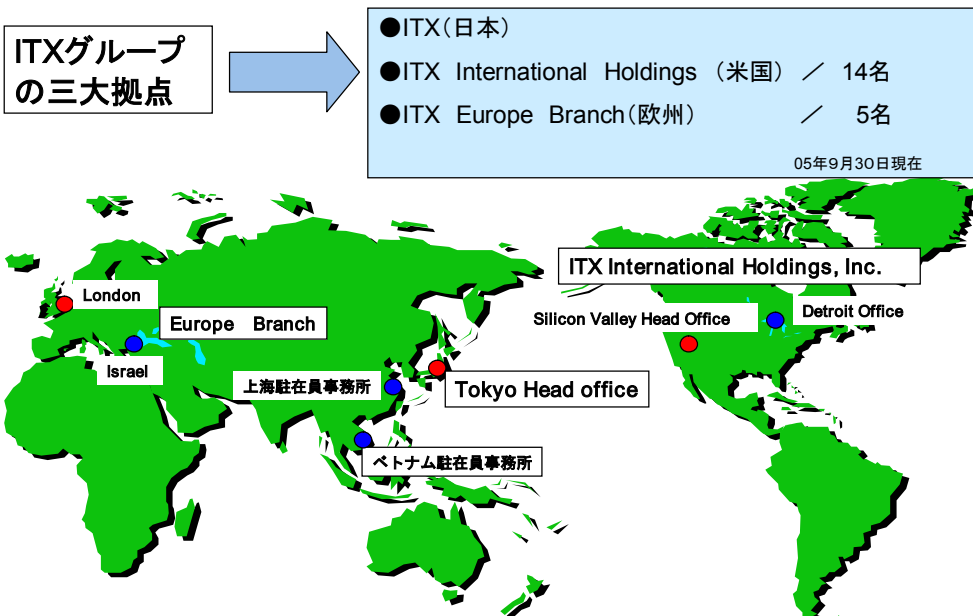


※各社の事業はパンフレット「主要グループ会社」をご参照ください。

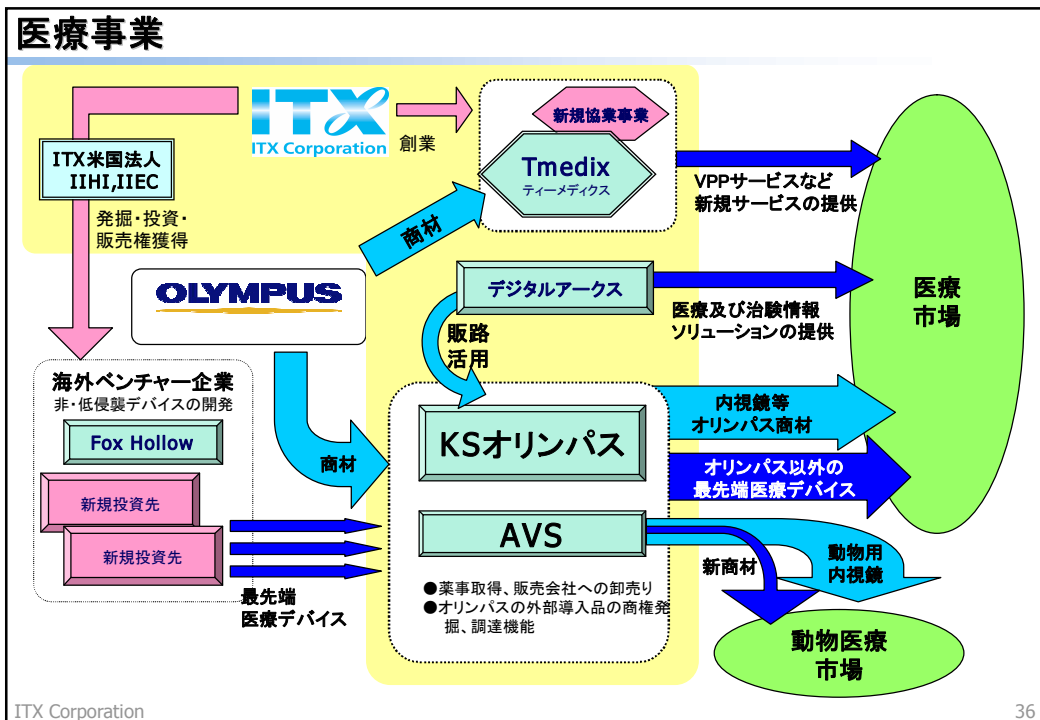
ITX組織



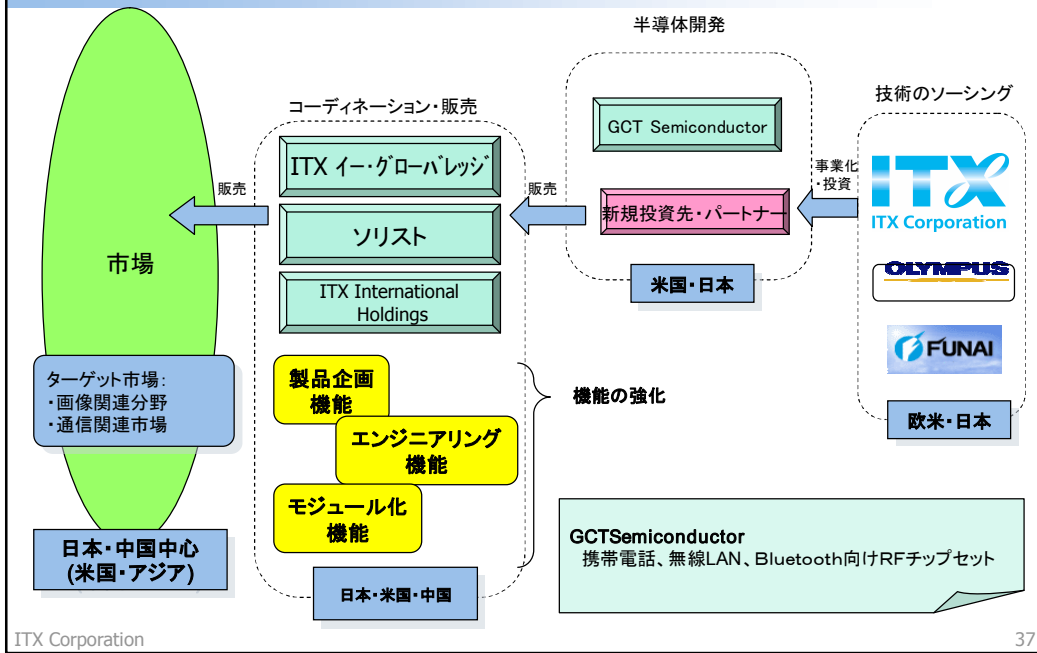
海外拠点網



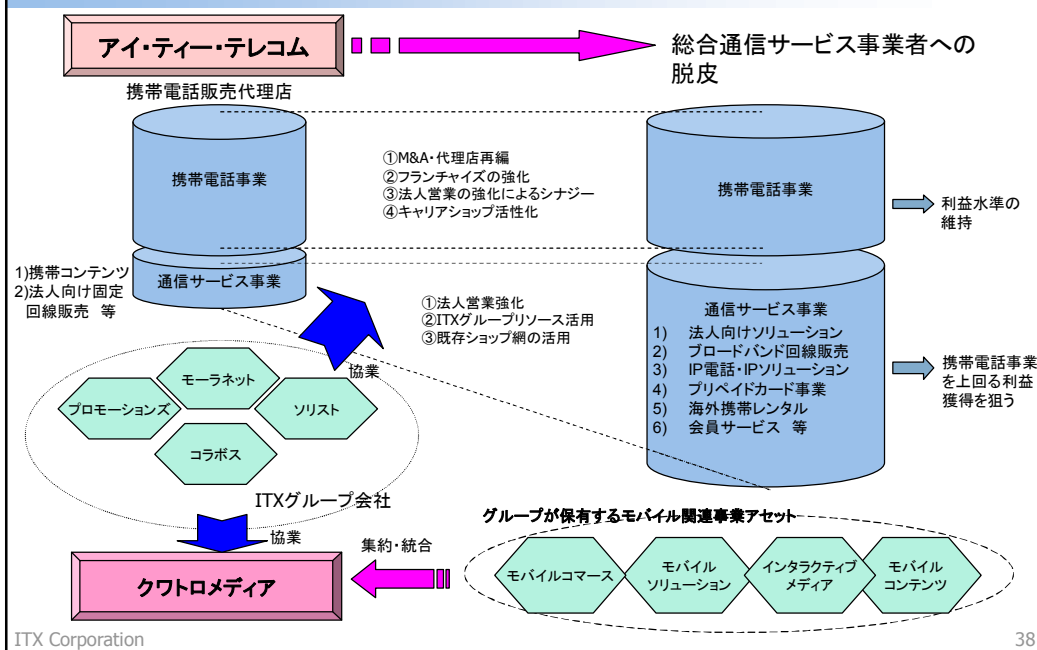
ITXグループの重点戦略事業



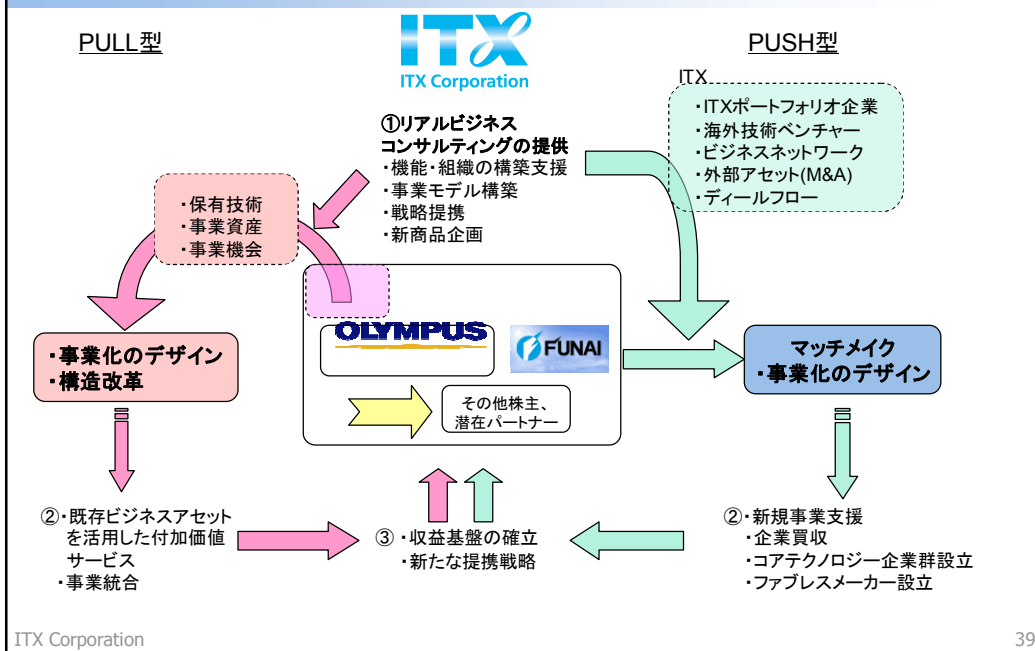
次世代半導体・電子デバイス



モバイル



重点施策 – アライアンス戦略



重点分野における戦略【ライフサイエンス】

◆ 医療事業

- AVS：『ユニークかつイノベーティブな欧米最先端医療技術を提供する事業体』として専門性を高め、ソーシング・販売の機能強化
- KSオリンパス：内視鏡等医療機器販売の拡大
- ティーメディクス：医療機関に向けた『診療プロセス・診察環境・費用の最適化』をテーマとしたコンサルテーション提供及び「VPP(症例単価払い課金方式)」プログラム等の内視鏡導入支援サービスの開発・提供
- デジタルアークス：「患者情報の共有化」のための医療機関ネットワーク(医療機関相互連携)ビジネスの拡大

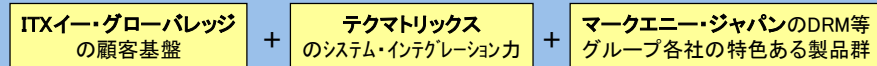
◆ バイオ

- ゲノム創薬支援分野における、後の市場拡大を見据えたソーシング能力強化
- ジーンフロンティア：マーケットにおけるブランドの確立
- 海外の案件ソーシング機能を梃子として、オリンパスとの共同事業を推進

重点分野における戦略【ネットワーク&テクノロジー】(1)

◆ ネットワークソリューション

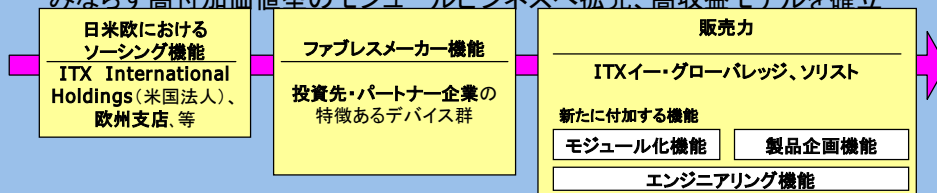
- セキュリティ分野等特定分野におけるネットワークソリューションのメインプレイヤーになる



- デバイスフリー、ロケーションフリーなユビキタスプラットフォームの構築

◆ 次世代半導体・電子デバイス

- 画像処理分野、通信分野等の特徴ある領域において、チップ単体のビジネスのみならず高付加価値型のモジュールビジネスへ拡充、高収益モデルを確立



重点分野における戦略【ネットワーク&テクノロジー】(2)

◆ ブロードバンド

- 光ブロードバンド
 - 法人マーケットに対して、ユーズコミュニケーションズの光インフラをベースに、モラネットを中心として、光ブロードバンド回線によるインターネット接続、ブロードバンドアプリケーションを提供
- ケーブルテレビ
 - デジタル放送サービス、ペイ・パー・ビュー、VoIP等の新サービス投入
 - きめ細かな顧客アフターサービス体制構築
- ネットプロテクションズの決済、eコマース事業等インターネットサービスの各レイヤーに対し垂直統合的に投資し相互に事業連携
- ブランド、信用力を確保し事業成長を加速すべく、各機能会社の早期IPOを支援

重点分野における戦略【モバイル】

◆ モバイル

- ◆ モバイル分野のコア会社アイ・ティー・テレコム^①の進化
 - 携帯販売事業中心のビジネスから『総合通信サービス事業者』へ
 - 大企業、中小企業、SOHO、個人といったすべての顧客に対し、キャリア、ベンダー、プロバイダー(コンテンツなど)が供給するハード・サービスをワンストップで提供
- ◆ ITXグループ内に分散しているモバイル関連サービスの事業アセット(コンテンツ・コマース・ソリューション・メディアミックス・双方向サービス)を集約した独立企業の設立⇒クワトロメディア設立

重点分野における戦略【ビジネスイノベーション】

◆ ビジネスイノベーション

- ◆ CVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)
ITXグループの各事業領域のアンテナ機能をも果たす
 - 案件発掘・投資サポート機能に対するフィー収入獲得
 - 特定領域にてパートナーとのファンド組成を目指す
⇒ITXキャピタル・イノベーションが「ITX-ネクストリーム1号投資事業有限責任組合」設立
- ◆ 企業再生投融资、未公開株セカンダリ投資、事業再編に伴うバイアウト投資等
プライベート・エクイティ投資事業の基盤構築
⇒05年投資先のデュアキッズが業界初の完全ハード化URLフィルタリング装置の開発に成功
- ◆ コンサルティング機能の提供を担う会社(事業再生:ミネルヴァ債権回収、採用支援・CRMソリューション:アトラクス、総合アウトソーシング:NOC日本アウトソーシング)の機能を強化
- ◆ IPX:特許分析、特許関連コンサルティングを通じ確保した顧客資産をベースに、特許資産流動化市場を掘り起こし、知財関連ビジネスにおけるパイオニアとなる